

平成30年度 教育課題 執行計画書兼実績報告書

No. 1

課題	1	事業名	学校校舎等の改築・改修						主管課	庶務課		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
執行計画	吾孺立花中学校				校舎新築工事							
	学校施設の安心安全の強化						設計起工			校庭整備工事		完了検査・竣工
進捗			設計起工									
実績	1 階配筋・型枠、屋根改修 ・配筋検査 4/24 ・総合定例 4/26 ・中川小アントイイベント（仮囲い） 4/26	2 階配筋・型枠、2階床コンクリート打設、屋根改修 ・法定中間配筋検査 5/17、18 ・中川小アントイイベント（仮囲い） 5/28 ・総合定例 5/31										
	現地調査、設計	ガラス飛散、防犯カメラ更新 現地調査、設計、見積もり										
<p>6月実績 吾孺立花中学校 3 階配筋・型枠、2 階床コンクリート打設、屋根改修 ・中川小学校アントイイベント（仮囲い） 6/4 ・総合定例 6/28</p> <p>学校施設の安心安全の強化（ガラス飛散、防犯カメラ更新） 設計、起工（ガラス飛散 4校、防犯カメラ 17校）</p> <p>進捗：○</p>												

進捗 : 順調、x : 遅延、 : その他 ()

平成30年度 教育課題 執行計画書兼実績報告書

No. 2

課題	事業名		新学習指導要領への対応										主管課		指導室	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
執行計画	英語 海外派遣 和エリオン 外国語教育 研修会	事前研修 研修会	研修会		派遣実施 事後研修 研修会	研修会 TGG	報告会	研修会	(学校対象) 説明会	(保護者対象) 説明会	一次審査	二次審査				
	幼・英語 道徳 教科書採択 教科書調査 委員会	推進教師 連絡会 教科書展示 アンケート 学校調査	教科書検討 委員会	推進教師 連絡会	中・道徳 教科書採択 小学校 教科書採択				主要な教育 課題決定	教育課程 届出説明会	推進教師 連絡会		教育課程 届出受理			
その他	学校サポーター 訪問 かん教育 認知症サ-ク 救命講習 プログラミング ICT ほか															
各種研修会																
進捗	海外派遣 ・オリエン テーション 実施 4/21	海外派遣 ・事前研修 (第1 回 5/12、第2回 5/27) 外国語教育研修 会 ・第2回(5/25) 第3学年新教材 『Let's Try! 1』 の活用について 道徳教育 推進教師 連絡会(5/11)道 徳科 指導と評価 のカリキュラムに ついて、道徳教 育の推進に おける、墨田区 の取組について、 情報交換 教科書採択 ・教科書展示、学 校調査 その他 ・学校サポーター訪 問(向国小5/28、 緑小5/29)														
実績	外国語教 育研修会 ・第1回研 修会実施 (NT業務委 託説明会 む)4/13	6月実績 海外派遣 ・事前研修(第3回6/2、第4回6/16、第5回6/24)実施 外国語教育研修会 ・第3回研修会(6/22)実施(第4学年新教材『Let's Try! 2』の 活用について) 教科書採択 ・検討委員会の開催 その他 ・学校サポーター訪問(柳島幼6/14)実施 進捗:														

進捗 : 順調、× : 遅延、 : その他 ()

平成30年度 教育課題 執行計画書兼実績報告書

No. 3

課題	3	事業名：学力向上新3か年計画の実施	主管課												すみた教育研究所
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
執行計画	区調査実施(4/24) 学力向上ヒアリング(前期) 国調査実施(4/17) 教育委員会メッセージ発信 マネジメント推進校計画取りまとめ 理科・社会科教材開発・ニュース発行	マネジメント推進校訪問、予算配当	区調査結果返却	区調査結果分析 学力向上推進会議(7/12) 都調査実施(7/5)	学力向上ヒアリング(後期)	指導のポイント：暫定版を周知 学習振り返り期間	各校ホームページに調査結果等を掲載				学習振り返り期間	学力向上推進会議(2/26)	各校で1年間の取組を振り返り		
	チャレンジ教室	放課後補習等(SST配置：中学校図書館開館分含む) 土曜日：春放課後：前		小学校夏休み補習(SST配置)	夏休み(中学校)		土曜日：秋放課後：中			放課後：後					
進捗	区調査実施4/24 学力向上ヒアリング(前期)~5/15 マネジメント推進校予算配当 理科ニュース、社会科ニュース発行 5/14、5/29 放課後補習教室、各校で開始 マネジメント推進校計画取りまとめ 理科ニュース発行 4/11、4/24	学力向上ヒアリング(前期)~5/15 マネジメント推進校予算配当 理科ニュース、社会科ニュース発行 5/14、5/29 放課後補習教室、各校で開始 チャレンジ教室(土曜日)5/19~、(放課後)5/16~													
実績															

進捗：順調、×：遅延、：その他()

平成30年度 教育課題 執行計画書兼実績報告書

No. 4

課題	事業名：幼保小中一貫教育推進計画の推進											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
執行計画	「幼保小中一貫教育推進計画」改定趣旨説明 連絡協議会参加 欠集約 学習指導に関する取組 生活指導に関する取組 就学・進学を意図した取組 小すたーとブック、計画概要配布	担当者連絡会開催（5/1） 補助金の支出 連絡協議会	英語活動実施園・校の調整、決定 ↑	英語活動の実施				連絡協議会 ↑		幼保小中一貫教育フォーラム（1/29）	↑	補助金の精算
進捗	「幼保小中一貫教育推進計画」改定趣旨説明 区立幼稚園・小・中学校教育委員会、私立保育園長会で説明 連絡協議会参加 小すたーとブック（5歳児）配布 区立幼稚園・区内公立幼稚園等を通じて配布	担当者連絡会開催 5/1 連絡協議会 5/2～									中ブレイク配布	
実績	<p>6月実績</p> <p>英語活動実施園・校の調整 補助金の支出 連絡協議会～6/6 学習指導に関する取組 各ブロックで開始 生活指導に関する取組 各ブロックで開始 就学・進学を意識した取組 各ブロックで開始</p> <p>進捗：</p>											

進捗：順調、×：遅延、：その他（ ）

平成 30 年度における墨田区立小中学校事務の共同実施（試行）について

1 目的

学校事務の正確性の向上と効率化の推進、事務職員の育成や意欲・専門性の向上、学校間の事務処理の標準化による学校経営のサポートなどの観点から、墨田区立小中学校事務の共同実施について、試行実施する。

2 内容

複数の小中学校をグループ化し、そのうちの 1 校にセンター的な組織として共同事務室を設置する。そこでは、グループ内の小中学校から集中的に配置された都費事務職員が、給与・財務・福利厚生事務等の一部を共同で処理し、事務の効率的な処理、学校のサポート等を推進する。

3 実施校

今年度の試行実施は、1 グループ・4 校にて行う。実施校は、錦糸中学校、豎川中学校、柳島小学校、業平小学校とする。

4 拠点校及び連携校

- (1) 錦糸中学校を拠点校とし、豎川中学校、柳島小学校、業平小学校を連携校とする。
- (2) 拠点校に共同事務室を設置し、グループ内の都費事務職員 4 名を配置する。
- (3) 共同事務室に事務を総括するため室長を置き、室長の補佐として副室長を置く。室長及び副室長は、グループ内の都費事務職員の中から課長代理級職員をもって充てる。
- (4) 拠点校及び連携校 3 校の学校事務室には都費非常勤職員を各校 1 名配置し、学校と共同事務室との取次業務や共同処理に馴染まない事務を処理する。

5 共同処理する事務

共同事務室で共同処理する主な事務は、次に掲げるものとする。

- (1) 文書に関する事務
- (2) 各種調査に関する事務
- (3) 証明に関する事務
- (4) 人事に関する事務
- (5) 給与、諸手当及び旅費に関する事務
- (6) 財務に関する事務
- (7) 福利厚生に関する事務

(8) その他共同事務室で処理することが適当と認められる事務

6 時期

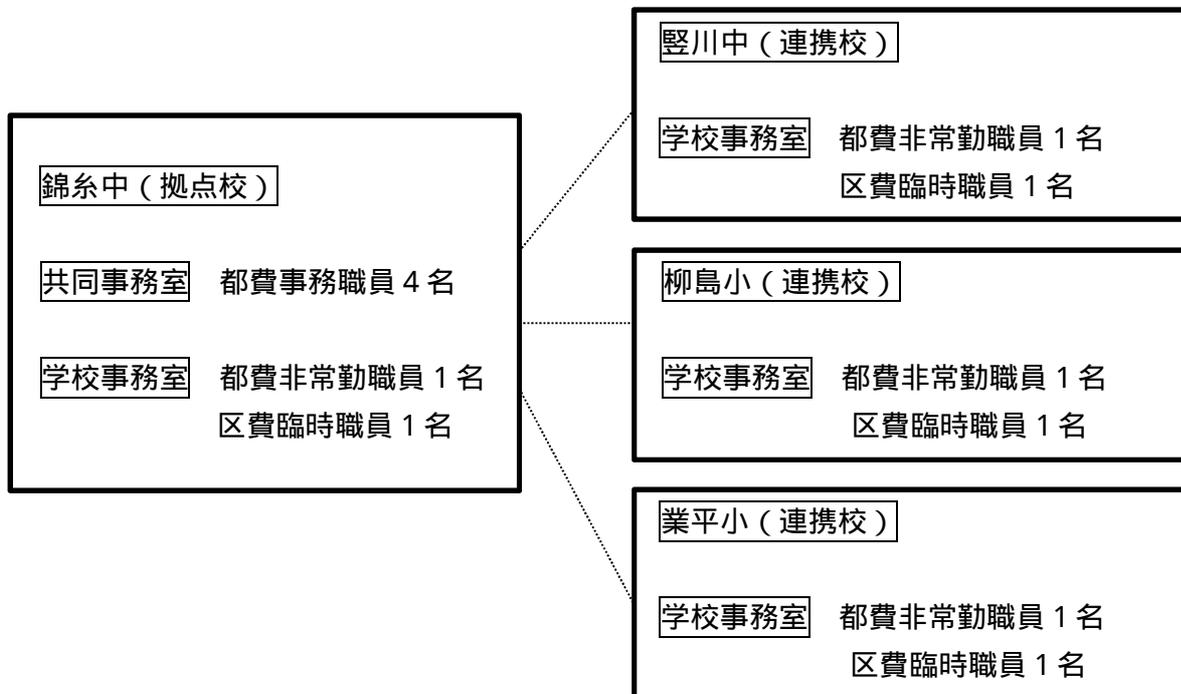
平成30年9月下旬に共同事務室を開設する。

7 その他

試行実施に向けて、共同事務室を整備するとともに、拠点校及び連携校の学校事務室に配置している都費非常勤職員が着実に本区の事務処理方法を習得できるよう、副校長、都費事務職員及び区教育委員会が連携してサポートする。

また、共同事務室開設後は、その効果を検証のうえ課題を整理し、本格実施に繋げていく。

【平成30年度 試行実施のイメージ】



平成30年7月19日
教育委員会報告
庶務課

表彰状の交付について

墨田区教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則第3条に基づく教育長の臨時代理により、下記のとおり教育長賞を授与したので報告する。

- 1 大会名
平成30年度民謡民舞東東京連合大会
- 2 主催者
公益財団法人 日本民謡協会東東京連合委員会
- 3 開催日
平成30年7月8日(日)
- 4 会場
曳舟文化センター
- 5 教育長賞受賞者
高岸 ハチヨ(たかぎし はちよ)
- 6 根拠規定
墨田区教育委員会表彰状交付基準要綱第2条第1項第5号

すみだ郷土文化資料館の燻蒸^{くんじょう}作業等に伴う臨時休館について

1 臨時休館日とする日

平成30年8月29日(水)から9月2日(日)の5日間

2 目的

虫害・カビ等によるすみだ郷土文化資料館の収蔵資料の劣化・汚損を防ぐため燻蒸作業を実施する。また、特別収蔵庫を除く、資料館全館の殺虫消毒を実施する。

作業は人体に有毒なガスを使用するため、来館者の安全確保を図り、閉館とする。

3 根拠法令

すみだ郷土文化資料館条例施行規則第7条第2項

4 区民への周知

区のお知らせ8月21日号及びホームページに掲載する。

上記の臨時休館日を含む8月27日(月)定期休館日～9月3日(月)定期休館日が休館になると案内する。

「墨田区学習状況調査」の結果について

第1 平成30年度「墨田区学習状況調査」の概要

1 本調査の位置付け

本調査は、墨田区学力向上新3か年計画（平成28年度～30年度）における目標の達成に向けた、2年目の進捗状況を検証するものである。

短期目標（3年間で達成を目指す目標）及び長期目標（10年間で達成を目指す目標）は、次のとおりである。

短期目標（3年間で達成を目指す目標）

【短期目標1】 「D・E層の児童・生徒」の割合を減少させる。（4ページ参照）

【短期目標2】 「読む能力」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」の区平均正答率が全国平均正答率以上とする。（5ページ参照）

【短期目標3】 「思考・判断力」の区平均正答率が、全国平均正答率以上とする。（6ページ参照）

「D・E層」とは、目標値に対して-5ポイント未満の（学力の定着に課題のある）児童・生徒の割合である。

長期目標（10年間で達成を目指す目標）

【長期目標1】 「目標に向けていつもコツコツ学習している児童・生徒」の割合を、次のとおり増加させる。（7ページ参照）

（小6） [平成27年度] 61.5% [平成37年度] 70%

（中3） [平成27年度] 48.8% [平成37年度] 60%

【長期目標2】 「D・E層の児童・生徒」の割合を、次のとおり減少させる。（7ページ参照）

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小6	25% (33.3%)	30% (48.4%)	25% (39.4%)	30% (37.5%)	
中3	25% (35.1%)	35% (54.4%)	30% (39.8%)	35% (52.9%)	30% (38.6%)

かっこ内は、平成27年度のD・E層の児童・生徒の割合

2 調査の目的

- 墨田区教育委員会は、児童・生徒に確かな学力を身に付けさせ、自ら学び、課題解決できる区民を育成する施策等に資するための基礎データを得る。
- 墨田区立各小・中学校は、授業改善プランを策定し、授業改善の取組を積極的に進めるために、自校の実態や児童・生徒一人ひとりの学習状況を把握する。

3 調査実施日及び調査対象

- 実施日 平成30年4月24日（火）
- 対象 小学校第2学年から中学校第3学年までの原則として全児童・生徒
- 内容 学習到達度調査 及び 意識調査

第2 平成30年度「墨田区学習状況調査」結果

1 区平均正答率と全国平均正答率・目標値との比較

(1) 小学校

平成30年度結果											
教科	観 点	第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
		目標値	区平均 全国平均								
国語	国語への 関心・意欲・態度	73.8	80.2 77.0	68.1	70.5 68.6	66.9	70.8 66.8	61.9	66.3 62.3	66.9	70.1 69.5
	話す・聞く能力	68.0	74.8 71.3	77.1	82.4 80.8	67.0	71.4 67.0	60.0	63.5 60.3	64.4	65.7 64.3
	書く能力	76.9	82.5 79.4	59.5	60.6 58.0	62.7	65.4 62.6	56.0	62.9 57.4	64.1	66.9 68.5
	読む能力	66.1	71.8 69.0	63.6	67.7 63.8	65.0	69.1 64.5	71.6	78.6 74.9	69.4	73.0 74.0
	言語についての 知識・理解・技能	90.0	93.7 94.6	81.4	85.4 84.3	71.0	73.3 73.8	70.4	78.6 76.4	64.4	70.2 69.0
社会	社会的な 関心・意欲・態度					58.9	62.8 59.0	60.6	64.3 64.1	59.0	58.6 61.4
	社会的な 思考・判断・表現					62.4	65.4 62.4	56.9	59.2 59.1	60.7	59.7 62.7
	観察・資料活用 の技能					68.9	71.3 68.5	60.5	61.3 60.1	64.5	61.1 64.0
	社会的な事象について の知識・理解					68.8	69.8 68.5	63.2	64.5 62.9	63.6	59.9 63.1
算数	算数への 関心・意欲・態度	71.1	74.8 70.4	61.0	66.2 63.3	72.5	74.6 71.4	57.5	55.6 51.0	40.0	33.1 32.2
	数学的な考え方	68.4	72.3 67.8	67.2	68.7 65.5	64.4	69.1 66.5	61.1	61.0 57.5	56.8	52.8 53.0
	数量や図形に ついての技能	81.0	87.3 85.0	79.3	82.2 80.5	77.6	80.9 79.8	68.6	67.8 66.1	68.2	67.4 69.9
	数量や図形について の知識・理解	83.2	87.3 84.7	71.1	73.5 70.8	74.7	77.5 74.7	66.9	66.5 64.4	71.3	70.8 72.7
理科	自然事象への 関心・意欲・態度					76.3	82.0 81.0	70.5	68.6 72.7	60.7	54.3 62.0
	科学的な 思考・表現					61.3	67.3 64.0	63.6	63.6 66.0	64.0	61.0 68.6
	観察・実験の技能					80.5	84.3 85.9	70.5	74.6 75.5	68.7	62.2 72.5
	自然事象について の知識・理解					70.7	75.5 73.4	71.3	69.8 73.9	68.7	63.5 70.9

< 区平均正答率と全国平均正答率の比較に関する3年間の推移 >

	30年度 計画2年目	29年度 計画1年目	28年度 計画前
B(全国平均) A(区平均) 全国平均正答率よりも、区平均正答率の方が高い(同じ場合を含む)。	49 / 69	39 / 69	17 / 69
B - 5(全国平均 - 5) A(区平均) < B(全国平均) 区平均正答率が、全国平均正答率の - 5%以上だが、全国平均正答率よりは低い。	16 / 69	23 / 69	46 / 69
A(区平均) < B - 5(全国平均 - 5) 区平均正答率が、全国平均正答率の - 5%より低い。	4 / 69	7 / 69	6 / 69

平成29年度結果											
教科	観 点	第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
		目標値	区平均 全国平均								
国語	国語への 関心・意欲・態度	75.6	81.1 81.0	65.6	74.5 71.8	68.1	74.0 68.3	65.6	77.8 76.4	65.6	71.3 70.6
	話す・聞く能力	71.0	75.8 75.3	63.0	72.6 67.8	71.1	74.8 70.6	75.0	87.5 87.4	60.0	67.2 67.6
	書く能力	78.1	84.6 84.8	65.6	75.7 74.3	61.4	69.7 62.3	58.5	72.1 70.2	67.3	70.7 70.0
	読む能力	66.4	71.2 69.6	64.3	75.3 70.9	63.9	75.0 68.9	73.4	81.3 79.7	72.2	78.5 78.3
	言語についての 知識・理解・技能	90.0	95.4 95.7	80.9	90.1 89.1	67.4	75.3 72.8	68.4	72.9 72.9	69.2	74.6 74.9
社会	社会的な 関心・意欲・態度					64.5	69.0 62.9	66.0	70.5 68.5	64.2	66.3 68.5
	社会的な 思考・判断・表現					63.7	69.7 65.5	65.2	66.9 68.4	65.0	66.7 67.7
	観察・資料活用 の技能					71.3	75.9 75.1	67.9	67.4 69.0	69.4	70.0 72.2
	社会的な事象について の知識・理解					76.4	81.4 78.6	70.2	73.2 71.8	68.3	70.1 70.9
算数	算数への 関心・意欲・態度	65.6	66.8 66.5	56.5	60.1 58.2	67.5	75.0 71.0	59.3	62.5 62.8	40.0	40.0 37.2
	数学的な考え方	70.7	72.1 72.5	63.9	71.4 68.6	60.6	69.3 66.1	60.2	62.5 63.8	56.1	54.7 56.1
	数量や図形に ついての技能	82.5	86.5 86.2	76.9	80.9 80.0	76.1	81.5 79.8	71.4	72.1 74.2	71.0	69.0 71.7
	数量や図形について の知識・理解	83.1	84.6 84.6	69.8	76.2 75.6	74.0	80.8 77.0	70.3	70.9 72.6	68.6	67.2 69.9
理科	自然事象への 関心・意欲・態度					67.7	69.1 73.0	61.1	60.4 66.3	70.4	69.5 77.2
	科学的な 思考・表現					58.4	62.2 62.5	54.8	50.0 56.3	62.6	61.7 67.7
	観察・実験の技能					64.4	64.7 66.5	71.3	75.8 79.3	60.0	56.5 64.4
	自然事象について の知識・理解					67.2	69.7 71.5	66.3	64.9 70.7	68.2	66.5 73.1

「目標値」は、標準的な時間をかけて学んだ場合、期待される正答率を示したものを。

- 区平均正答率が、全国平均正答率以上である観点
- 区平均正答率が、全国平均正答率よりも低い、全国平均正答率の - 5ポイント以上である観点
- 区平均正答率が、全国平均正答率の - 5ポイント未満である観点

2 学力向上新3か年計画における「短期目標」の達成状況

(1) 【短期目標1】(「D・E層の児童・生徒」の割合の減少)について(単位:%)

■ は、学力向上新3か年計画の目標を達成している教科である。

ア 小学校

学年	教科	各層に属する児童の割合(30年度)					D・E層に属する児童の割合			目標
		A層	B層	C層	D層	E層	30年度	29年度	28年度	
2年	国語	17.2	45.5	17.1	19.8	0.4	20.2	18.5	21.8	15
	算数	19.4	47.5	16.5	16.5	0.1	16.6	23.2	20.4	15
3年	国語	6.6	54.1	16.7	21.6	1.0	22.6	15.1	27.7	25
	算数	8.0	48.4	20.8	21.8	1.0	22.8	20.8	33.4	25
4年	国語	10.1	45.0	15.1	29.1	0.7	29.8	20.1	30.9	30
	社会	6.9	46.4	18.9	26.3	1.5	27.8	24.4	48.6	25
	算数	11.9	45.1	18.7	23.6	0.7	24.3	20.0	32.7	25
	理科	5.6	51.9	20.1	21.6	0.8	22.4	26.4	34.7	25
5年	国語	10.4	51.1	18.0	20.3	0.2	20.5	19.9	31.2	30
	社会	3.2	41.7	17.8	36.5	0.7	37.2	33.5	39.7	30
	算数	4.8	42.4	14.4	37.5	0.9	38.4	32.2	35.0	30
	理科	4.2	46.1	15.1	34.0	0.7	34.7	40.8	34.4	30
6年	国語	7.3	48.0	19.2	25.0	0.4	25.4	22.9	29.7	30
	社会	5.0	37.1	16.8	39.7	1.4	41.1	33.5	38.9	35
	算数	7.2	37.6	14.6	39.8	0.8	40.6	39.1	43.3	30
	理科	4.0	35.1	17.1	42.7	1.1	43.8	40.0	42.3	35
【短期目標1】を達成している教科数							7	8	1	

イ 中学校

学年	教科	各層に属する生徒の割合(30年度)					D・E層に属する生徒の割合			目標
		A層	B層	C層	D層	E層	30年度	29年度	28年度	
1年	国語	5.2	40.5	17.9	35.4	1.1	36.5	23.9	30.0	30
	社会	1.7	38.8	20.0	38.7	0.7	39.4	49.2	55.0	35
	数学	6.1	39.9	20.2	32.6	1.2	33.8	34.7	37.9	35
	理科	0.7	31.0	16.3	50.1	1.9	52.0	47.1	46.4	40
2年	国語	3.5	44.2	20.0	31.9	0.5	32.4	25.0	25.5	30
	社会	0.5	30.4	20.8	47.8	0.4	48.2	54.9	51.1	40
	数学	6.2	45.0	14.7	33.0	1.1	34.1	41.5	40.2	35
	理科	1.6	34.3	14.6	48.4	1.2	49.6	49.6	61.5	40
	英語	5.7	39.3	13.6	40.8	0.6	41.4	39.9	43.5	35
3年	国語	3.6	39.7	20.4	35.0	1.3	36.3	28.3	31.5	30
	社会	1.0	32.6	17.0	47.9	1.5	49.4	48.7	50.3	45
	数学	5.3	39.8	12.7	39.4	2.9	42.3	41.8	42.7	35
	理科	0.7	24.3	12.2	60.2	2.6	62.8	46.1	57.5	45
	英語	6.7	39.5	16.3	36.9	0.6	37.5	32.4	40.2	35
【短期目標1】を達成している教科数							2	5	2	

(2) 【短期目標2】(「読む能力」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」の平均正答率)について
 は、区平均正答率が全国平均正答率を上回っている観点である。

ア 小学校 (単位：%)

観点	第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	墨田区	全国								
読む能力	71.8	69.0	67.7	63.8	69.1	64.5	78.6	74.9	73.0	74.0
書く能力	82.5	79.4	60.6	58.0	65.4	62.6	62.9	57.4	66.9	68.5
言語についての 知識・理解・技能	93.7	94.6	85.4	84.3	73.3	73.8	78.6	76.4	70.2	69.0

イ 中学校 (単位：%)

観点	第1学年		第2学年		第3学年	
	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国
読む能力	57.7	56.7	54.8	52.9	50.0	51.0
書く能力	56.0	51.7	50.2	47.2	63.9	64.0
言語についての 知識・理解・技能	68.8	70.5	75.5	75.8	63.6	64.2

【短期目標2】を達成している観点数

小学校			中学校		
30年度	29年度	28年度	30年度	29年度	28年度
11/15	12/15	6/15	4/9	5/9	5/9

(3) 【短期目標3】(「思考・判断力」の平均正答率)について

本調査は、教科ごとの「観点」とは別に、全ての問題を「基礎」「応用(思考・判断力)」「表現力」の3つの観点に分けている。ここでは、「応用(思考・判断力)」の平均正答率を示している。

は、区平均正答率が全国平均正答率を上回っている観点である。

(1) 小学校

(単位：%)

教科	第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	墨田区	全国								
国語	73.8	69.1	51.0	49.2	70.0	69.2	70.0	65.0	61.7	60.3
社会	/		/		66.9	64.1	54.6	55.1	74.3	74.1
算数	71.0	66.8	62.7	59.3	70.8	67.6	68.0	65.2	53.1	52.7
理科	/		/		75.2	71.3	61.8	63.1	57.7	65.0

(2) 中学校

(単位：%)

教科	第1学年		第2学年		第3学年	
	墨田区	全国	墨田区	全国	墨田区	全国
国語	53.2	52.8	52.7	51.8	52.1	51.9
社会	57.4	56.0	52.3	52.3	46.0	47.9
数学	65.3	65.9	52.7	51.3	37.0	36.7
理科	46.2	53.0	37.2	39.0	37.4	42.5
英語	/		58.8	54.4	50.7	47.5

【短期目標3】を達成している教科数

小学校			中学校		
30年度	29年度	28年度	30年度	29年度	28年度
13/16	10/16	7/16	9/14	3/14	2/14

3 学力向上新3か年計画における長期目標の達成状況

(1) 【長期目標1】(「目標に向けていつもコツコツ学習している児童・生徒」の割合)の推移

小学校第6学年				中学校第3学年			
目標 (37年度)	30年度 取組2年目	29年度 取組1年目	28年度 取組前	目標	30年度	29年度	28年度
70%	61.4%	62.2%	60.5%	60%	53.0%	55.2%	47.1%

(2) 【長期目標2】(「D・E層の児童・生徒」の割合)の推移

	小学校第6学年				中学校第3学年			
	目標	30年度	29年度	28年度	目標	30年度	29年度	28年度
国語	25%	25.4%	22.9%	29.7%	25%	36.3%	28.3%	31.5%
社会	30%	41.1%	33.5%	38.9%	35%	49.4%	48.7%	50.3%
算数・ 数学	25%	40.6%	39.1%	43.3%	30%	42.3%	41.8%	42.7%
理科	30%	43.8%	40.0%	42.3%	35%	62.8%	46.1%	57.5%
英語					30%	37.5%	32.4%	40.2%

4 調査結果の分析及び今後の方向性

(1) 成果

- ・ 区平均正答率が全国平均正答率を上回る観点数が増加してきており、全般的には小・中学校とも上昇傾向にあると考えられる。
- ・ 【短期目標3】(思考・判断力)については、本年度著しく上昇している。各学校において、校長を中心とした組織的な学力向上の取組及び新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組が進んできていると考えられる。

(2) 課題

【短期目標1】及び【長期目標2】の状況から、D・E層の児童・生徒の割合に減少がみられず、依然として課題である。D・E層の割合を減少させるための手立てが必要であると考えられる。

(3) 今後の方向性

墨田区の児童・生徒の学力については、全般的には上昇傾向がみられていることから、昨年度までの取組を継続させつつ、「D・E層の児童・生徒の割合を減少させること」を学力向上新3か年計画最終年度の最重要課題として、取組を推進していくこととする。

第3 調査結果を受けての取組

1 調査結果の公表

(1) 教育委員会の対応

区全体の傾向を示すため、「学年別、教科別、観点別の調査結果」及び「分析結果」を、区教育委員会ホームページで公表する。

(2) 学校の対応

ア 学校のホームページ等による「調査結果」及び「9月以降の学力向上プラン」の公表

自校の学年別、教科別、観点別の調査結果とともに、調査結果の分析、9月以降の「学力向上を図るための全体計画」(学校全体の学力向上の取組計画)を、学校のホームページや学校だより等で公表する。

イ 児童・生徒及び保護者に対する「個人票」の返却

児童・生徒及び保護者に対して、保護者会や三者面談等の機会において、今後の課題や取り組むべきことを直接説明しながら、個人票を返却する。

2 学力向上を図るための重点的な取組

本調査結果を受け、下のとおり、児童・生徒の学力向上を図るための重点的な取組を推進していく。

(1) D・E層の割合の減少に向けた取組

学力向上新3か年計画最終年度の最重要課題が「D・E層の割合の減少」であることを各学校へ周知するとともに、各学校において、基礎的・基本的な学習内容が確実に定着しているかどうかという視点で分析を行うよう、学校へ助言している。各学校は、「学力向上を図るための全体計画」に分析結果を反映し、9月以降の取組を進めていく。

さらに、各学校は、今回の調査から明らかになった課題を一つ下の学年の指導で活用していく。

(2) 学習内容を振り返る機会の設定

学期末(9月・1～3月)を「学習ふりかえり期間」として、各学校が、これまでに学習した当該学年の内容を復習する期間を設定する。振り返りに当たっては、単元ごとの「ふりかえりシート」を教材コンテンツに導入し、各学校が活用できるようにする。

(3) 教材コンテンツの整備

課題のある社会科・理科を中心として、本年度の学力調査で課題のある問題に関する提示教材や指導する際のポイントを整備し、各学校における指導や定着の際に活用する。

墨田区立学校 部活動の運営に関する取扱い方針について

1 方針策定のねらい

生徒の自主的、自発的な参加により行われる中学校の部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感を涵養する等、学校教育が目指す資質・能力の育成に大きな役割を果たしている。

一方で、部活動の運営体制については、生徒、指導者ともに過度の負担となる状況などが指摘されており、社会状況や生徒、保護者意識、教員の労働環境の変化等も踏まえて、課題解決を図る必要がある。今後の部活動については、学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的でかつ効率的・効果的な活動が実現するよう組織的・計画的に運営することが求められる。

このため、教育委員会として「墨田区立学校 部活動の運営に関する取扱い方針」を策定し、区立学校における部活動を適切に実施する。

2 適切な運営のための体制整備

(1) 部活動の方針の策定等

ア 校長は、本方針に則り、毎年度、「学校の部活動に係る活動方針」を策定する。

部活動顧問は、年間の活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会日程等）並びに毎月の活動計画及び活動実績（活動日時・場所、休養日及び大会参加日等）を作成し、校長に提出する。

イ 校長は、上記アの活動方針及び活動計画等を学校のホームページへの掲載等により公表する。

(2) 指導・運営に係る体制の構築

ア 校長は、生徒や教員の数、外部指導員の配置状況を踏まえ、指導内容の充実、生徒の安全の確保、教員の長時間勤務の解消等の観点から円滑に部活動を実施できるよう、適正な数の運動部及び文化部を設置する。

イ 校長は、部活動顧問の決定に当たっては、校務全体の効率的・効果的な実施に鑑み、教員の他の校務分掌や、外部指導員の配置状況を勘案した上で行うなど、適切な校務分掌となるよう留意するとともに、学校全体としての適切な指導、運営及び管理に係る体制の構築を図る。

ウ 校長は、毎月の活動計画及び活動実績の確認等により、各部の活動内容を把握し、生徒が安全に活動を行い、教員の負担が過度とならないよう、必要に応じて指導・是正を行う。

エ 校長は、教員の部活動への関与について、「学校における働き方改革に関する緊急対策（平成 29 年 12 月 26 日文科科学大臣決定）」及び「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務管理等に係る取組の徹底について（平成 30 年 2 月 9 日付 29 文科初第 1437 号）」を踏まえ、法令に則り、業務改善及び勤務時間管理等を行う。

3 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組

(1) 適切な指導の実施

ア 校長及び運動部活動顧問は、部活動の実施にあたっては、文部科学省が平成 25 年 5 月に作成した「運動部活動での指導のガイドライン」に則り、生徒の心身の健康管理（スポーツ障害・外傷の予防やバランスのとれた学校生活への配慮等を含む）及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。

イ 運動部活動顧問は、スポーツ医・科学の見地からは、トレーニング効果を得るために休養を適切にとることが必要であること、また、過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高め、必ずしも体力・運動能力の向上につながらないこと等を正しく理解するとともに、生徒の体力の向上や、障害を通じてスポーツに親しむ基礎を培うことができるよう、生徒とコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトすることなく、技能や記録の向上等それぞれの目標を達成できるよう、競技種目の特性等を踏まえた科学的トレーニングの積極的な導入等により、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。

また、専門的知見を有する保健体育担当の教員や養護教諭等と連携・協力し、発達の個人差や女子の成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を得た上で指導を行う。

(2) 運動部活動用指導手引きの活用

運動部活動顧問は、運動部活動における合理的でかつ効率的・効果的な活動のために、中央競技団体が作成した指導手引きを活用して、3(1)に基づく指導を行う。

4 適切な休養日等の設定

(1) 学期中は、週当たり 2 日以上の休養日を設ける。

(2) 1 日の活動時間は、長くとも平日では 2 時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は 3 時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。

(3) 休養日については、平日 1 日、土日 1 日以上とし、週末に大会参加などで活動した場合は他の日に休養日を振り替える。

(4) 長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動が行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設ける。

5 校外における部活動について

(1) 生徒引率について

ア 校外において部活動を実施する際には、事前に部活動顧問から提出された引率届に基づき校長が許可する。

イ 校外への生徒の引率は当該校の教員が行い、外部指導員(保護者、卒業生等を含む)のみによる引率を行わない。

(2) 授業日における取扱いについて

授業日における校外での部活動は、原則として、公式大会(原則として東京都中学校体育連盟及び東京都中学校文化連盟が主催又は主催する大会、墨田区体育協会が主催する区民大会、墨田区教育委員会が主催する体育行事等)参加の場合のみ認められる。これ以外の部活動に生徒を参加させるため、授業等(登校時刻から下校時刻までの全ての教育活動をいう)を欠席し、遅刻及び早退させることはできない。

6 配慮事項

部活動は学校教育の一環であることから、学校から保護者等に配布する文書について校長が決裁する。

別紙 1 活動方針

学校 部活動に係る活動方針

<p>学校における部活動の方針</p>	<p>教育委員会の方針に則り、学校における部活動の方針を記載します。</p>
<p>適切な休養日等の設定方針</p>	<p>教育委員会の方針に則り、週当たりの休養日、長期休業中の休養日、1日の活動時間の設定方針を記載します。</p>
<p>設置されている 運動部活動名</p>	<p>学校において設置されている運動部活動名を記載します。</p>
<p>設置されている 文化部活動名</p>	<p>学校において設置されている文化部活動名を記載します。</p>

別紙2 年間の活動計画

学校 部

年間目標								
部員数 (平成 年 月現在)								
活動日	教育委員会の方針に則り設定します。活動時間、休養日についても同様です。							
活動時間	平日	:	~	:	休日	:	~	:
休養日								
主な活動予定	4月							
	5月							
	6月							
	7月							
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月							
	2月							
	3月							
参加予定大会	年間の参加する予定の大会を記載します。 生徒や顧問の負担が過度にならないことを考慮して、参加する大会等を精査します。							
主な実績	29年度							
	28年度							
	27年度							

別紙 3 毎月の活動計画及び前月の活動実績

部 月活動計画

日	曜日	活動時間・活動場所・休養日及び大会参加等
1日		年間の活動計画を基に月ごとの活動計画を作成します。
2日		
3日		
4日		
5日		
6日		
7日		
8日		
9日		
10日		
11日		
12日		
13日		
14日		
15日		
16日		
17日		
18日		
19日		
20日		
21日		
22日		
23日		
24日		
25日		
26日		
27日		
28日		
29日		
30日		
31日		
<p>前月の活動実績等</p> <p>生徒が安全に部活動を実施しているか、教師の負担が過度となっていないか、適宜、指導・是正を行えるように、毎月の活動実績等の内容を記載します。</p>		